

能美市地域福祉活動計画 第3回アクションプラン推進協議会

1. 開催日時：平成20年11月10日(月)午後1時30分～
2. 開催場所：辰口健康福祉センター 大ホール
3. 出席者(敬称略)

高塚亮三(福祉施設等)・宮田明(市自治公民館協議会)

…地域福祉人づくり委員会

今川清知(一般公募)・西邦昭(市町会連合会)…地域福祉ネットワークづくり委員会

喜多泉(子育てに関わる団体)・近藤沙夜里(一般公募)

…地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

西川方敏(市ボランティア連絡協議会)・田中策次郎(一般公募)

…私たちのボランティアセンターづくり委員会

佐々木真知子…評価委員会委員長

宮本長興・吉田健造・新川葉子・海道伸子・南敦子・南野和美・仁地美代・森田友貴(市
社会福祉協議会)

欠席者(敬称略)

西出紀代美(地域福祉ネットワークづくり委員会)

荒井昌宏(評価委員会副委員長)

4. 会議次第

- 1) 開会の挨拶
- 2) 委嘱状交付
- 3) 第4回能美市社会福祉大会での報告
- 4) 各アクションプラン委員会からの報告
- 5) H21年度各アクションプラン委員会とアクションプラン推進協議会事業計画の検討について
- 6) 評価の方法について<前回からの継続審議>
- 7) その他、今後の予定など
- 8) 閉会の挨拶

事務局：ただ今から第3回アクションプラン推進協議会を始めさせていただきます。始めに、宮本会長よりご挨拶をお願いいたします。

宮本会長：皆様、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。各アクションプラン委員会におきましては、精力的に会合を開いていただきまして本当に感謝申し上げます。お蔭様で皆様の協議そのものが社会福祉協議会並びに地域福祉に関する関心を高めているようでございまして、いろいろな面でひしひしと肌で地域福祉が前向きに進んでいることを感じております。

また、非常に積極的な委員の方もおいでまして、会員のあり方についてや組織のあり方の考え方について等、大変貴重なご意見をいただきまして、そのような面に関しましては、事務局的に前向きに検討していきたいと思っております。今日は、これまでのそれぞれの委員会の活動状況もお聞きしながら、さらにどうやって推進していくかということも話し合っていきたいと思っております。今日は、本当にありがとうございます。

事務局：ありがとうございました。

本日の議題に入る前に「委嘱状の交付」を予定しております。前回ネットワークづくり委員会の今川委員長さんからのご報告もありましたが、西出紀代美さんをネットワークづくり委員会のもう1人の副委員長さんにとということでお話がありましたが、その委嘱状の交付が抜けておりましたので、今回、お手元のアクションプラン推進協議会設置要綱を改正いたしまして、西出さんに委嘱状をお渡ししたいと予定しておりましたが、今朝ほど急にご都合が悪くなったと連絡が入りまして、ここではお渡しすることができなくなりました。後日、西出さんの方にこの委員会の委員ということでご委嘱状をお渡しさせていただきます。

設置要綱の改正につきましては、役員第3条推進協議会に次の役員を置くというところの「(3)理事」、ここが8名となっておりますが、9名ということで改正させていただきたいと思っております。任期は、20年9月8日から、21年3月31日までということで、西出さんにはまたお渡しさせていただきます。

以上、ご報告となりますが、ご了解をお願い致します。それでは、高塚委員長さんにご挨拶をいただいた後、進行をお願いしたいと思います。お願い致します。

高塚委員長：皆さん、こんにちは。社会福祉大会で中間報告をまとめてみて、アクションプランで見えてきたものがあるのではないかと思います。今、会長さんがおっしゃったように、初年度ということではいろんなことで計画を読めば読むほど分からなくなってくる部分があります。人づくり委員会も、月1回でも来年の3月までには終わりそうもないような気がして、少し、多めに委員会を開催している状況です。

評価ということになりますと、難しい点も出てきます。単に数字で表される参加人数、設置数、支え合いのしくみづくりでありますと、登録人数であるとかは、非常に把握しやすい部分であると思いますが、質的な要素も出てくるのではないかと思います。

地域福祉委員会にしても、設置数だけでなしに、内容というものがだんだんと問われていくだろうと思っていますので、初年度は、とにかく、5年間を通して見て初年度に成すべきことをきっちり見極めてやっていければと考えております。皆様、また、よろしく願いいたします。

それでは、レジメ3の「第4回能美市社会福祉大会での報告」に移ります。

事務局：先月10月11日、寺井地区公民館で行われました、能美市社会福祉大会での活動計画の取り組みの報告について本当にお疲れ様でした。会場の皆さんがアンケート用紙に書かれた分だけを先にご案内とともに同封させていただいております。そのことと、その会場でアクションプラン委員会の委員の方々のお名前を出ささせていただきまして、各委員さんのところに生の声を聞かせていただきたいというお話もあったと思います。今日は、そのアンケート用紙の感想と、また後日、皆さんが耳にされたような住民の皆さんのご意見をまとめて挙げさせていただきました。それから、社会福祉大会での皆さんの報告は、社会福祉協議会のHPに挙げさせていただいております。また、お目を通していただけたらと思います。

高塚委員長：社会福祉大会では、時間を少しオーバーしてしまい、ご迷惑をお掛け致しました。お詫びをしないといけないと思っております。

実は、その前日に共同募金のあり方についてのセミナーがありました。それを聞いた後、少し予定していたものよりも、もう一度、財源的な点を見直す必要があると感じましたので、あえて時間をオーバーしてしまいました。

財源的なものにつきましては、会長さんもおっしゃいましたが、会費のあり方の協議もこれからさらに進めていくことになるのだと思います。

それから、視察で社会福祉協議会のあり方についてきちんと見極めていこうという方向が、先日の理事・評議員会で話し合われたわけです。どういう財源を使って、何をやっているのかということもしっかりと評価の中に入ってくるだろうと思います。

それでは、次にレジメ4の「各アクションプラン委員会からの報告」に移らせてい

たきます。喜多さんからお願いいたします。

喜多委員：支えあいのしくみづくり委員会の方は、寺井地区公民館で発表した前に開催したのが最後です。とりあえず、市民の方々に支えあいのしくみづくり委員会を理解していただく、その応援の気持ちを持っていただくことが目標だったので、保育園や老人会等の行事の集まりに出向いて行き、ファミリー・サポート・センターがどんなものであるのか、何故、今、あえて子育て支援が必要なのか、子育て支援の定義というものがどういうことであるのか等、丸山さんや私、子育て支援センターの中さんと一緒に回って説明しています。

シナリオがあるわけではないので、そのつど、その時の状況を見ながら、集まっている方々の反応を見ながらお話しているつもりです。皆さん、一生懸命聞いて下さって、支援ということが、ただただ「受け皿の有無」だけではないと少しずつ理解してくださっているのかなと感じております。

一回行ったから分かるというものではないと思いますが、とりあえず、今年度いろいろな集會に出向いて行って一度お話をさせていただいていることは意味のあることだと思います。以上です。

西川委員：前は、10月20日、月曜日19時半より辰口健康福祉センターで会合を持ちました。3回目ということで、2回目に比べ皆さんいろいろと発言していただきました。ボランティア保険、ボランティアセンター活動そのものの一般的な理解が進んだと思っております。その中で出てきた意見の中で、ボランティアセンターの一覧を作ろうという積極的な意見もいただきました。これからの活動で何とか実現していきたいと思っております。

また、会合を2ヶ月に1回から1ヶ月に1回にしたいということの了解を得ました。場所は、寺井で行うことになりました。先ほど委員長の話を聞いていますと、月1回では足りないと言っておりましたが、私どもは、ようやく月1回行うことになりました。これからは、事務局に、委員の皆さんの意見を一覧にまとめることを同時にお願ひしてあります。縦軸、横軸を使って皆さんに分かるように一覧を作っていきたいと思っております。以上です。

高塚委員長：人づくり委員会は、社会福祉大会前の9月17日に第3回目を終わりました。10月21日に第4回目の人づくり委員会を行いました。

人づくり委員会は、人づくり委員会の方向がつかめにくい部分がありまして、挨拶の中でも申し上げましたが、アクションプランの読み込み、体系図等、アクションプランとの対応がどうなっているのかということも第3回後に話し合いをいたしました。また、ボランティアセンターづくりの方も一覧を作るという話と人づくり委員会も同じなのですが、まず、人づくり委員会の出身母体の紹介を様式に従って一度出してみよう、さらに、それを各諸団体に練り上げて書き込んでいただく。まずは、そういうものを作らないと人づくりへの取り組みが空振りしてしまうのではないかという話がありましたので、第4回目は、そういうことをやってきました。

事務局にもお願いしているのですが、ふれあい事業の参加者が、「1800人でそれを5年後には3,000人に」という数字にするという考えが出ておりますが、その根拠は何か？1,800人という数字の意味もしっかりこれから論議していかないといけないと思います。

実際に活動計画がスタートして一人ひとりの意識が変わってきているように見えますので、地域福祉委員会を立ち上げた町会、まだ設立総会を終えていない所がほとんどだとは思いますが、そういう所ですら、はっきりと確認できるような活動が生まれてきていると思います。これまでは、なかなかいろいろな問題が言い出しにくかったことが、地域福祉委員会ができたことによって、実際の活動に結びついてきていると思いますので、地域を見直したら、5年間の計画が、半ば達成せられているような感覚さえする今日この頃です。

今川委員：第3回が、9月29日に辰口健康福祉センターで行われました。会長さんは、宮竹町の町会長さんでもあり、社会福祉協議会の会長さんでもありますが、宮竹町の福祉委員会の状況で特に避難訓練のお話を聞くと、実際の活動状況からみますと、ほかにモデル地区もある中で、宮竹町が一番進んでいると思います。

防災、見守り会、いきいきサロンもあります。特に、自主防災の中で、男性の消防団と女性の婦人の部の二つがあるということに本当に驚きましたが、とても参考になりました。

地域福祉委員会の設置状況は、41町会が、とりあえず届出が出ており、今現在一ヶ所だけ増えて42町会ということでございます。地域福祉という認識がまだまだ狭い意味での「地域福祉」委員会という意識で、見守り会やいきいきサロンも行っているところもありますが、遅れているのではないかと思います。

届出だけでも今年度していただき、残り、3年間で内容の充実を図り、まちづくりと

いうものを社協と一緒に、また、行政の福祉課や民生部の方々とやっていかなければならないと思います。

また、皆さんで各地区の福祉委員会をお互いに勉強していこうというようなこと、いきいきサロンの場合の財源的な面等のお話もございますので、助成要綱というものも決まってはいるけれども、会員会費の使い方も含めて検討していけたらと思います。第4回が、12月1日でございますのでまたいろいろと検討していきたいと思います。以上でございます。

高塚委員長：ありがとうございました。何かご質問等ございませんでしょうか。

西川委員：社会福祉大会が終わった後に言われたことが、ひとつございまして、支えあいのしくみづくり委員会のファミリー・サポート・センターの目標が既に達成してしまっていて、この資料の目標ってなんだろう？と言われたのですが、そこらへんを委員会の中でどうしていくのが課題であると思います。

また、達成していないところは、先ほど委員長の話もございましたが、目標の根拠というものは何か？というところも是非考えていく必要があると思います。

高塚委員長：どうもありがとうございました。

今川委員：西任田町ではこの間防災訓練がありました。10月には、福祉講演会を行っております。防災訓練時には、私も参加させていただき、だいたい20分くらいで皆さん集まっておられました。消火器の使い方等もかなりの時間をかけて行いました。炊き出し訓練も大変ではございましたが、なんとか行うことができました。

後日、開かれた反省会には都合悪く行けませんでした。いずれの反省点も宮竹町のやり方も聞きながら、アドバイスできることがあればよかったです。行けなかったのもまたこれからお話していきたいと思います。そういうことが、報告となってきてくれば、これがPRとなるわけでもありますので、私も宣伝していきますのでまたよろしくお願い致します。

高塚委員長：ありがとうございました。

それでは、レジメ5の「H21年度各アクションプラン委員会とアクションプラン推進協議会事業計画の検討について」ということに移りたいと思います。事務局、

お願いいたします。

事務局：添付資料のH20年度アクションプラン予算ということで4枚つけてあります。皆さんには、春からお話を進めてこられた中で、なかなか活動計画予算のところまでお示しすることができなくてご迷惑をおかけしました。21年度の予算の話の前に、本年度予算について説明させていただきたいと思います。(以下、資料にもとづき説明)

高塚委員長：ありがとうございます。

財源についてそれぞれお分かりいただけたと思います。本来ならば評価が、出てそれから次年度の予算づけをするというのが順序でしょうが、なかなかそこまで行くには、何年間か時間がかかるのだと思います。今、やらなければならないことは情報の共有じゃないかなと思います。

また、それを次へとどう受け継いでいってもらうか等が主になってくるのではないかなと思います。

ふれあい事業について少しお話しますと、ふれあい福祉運動でたくさん人を集めてもいいものかどうかという問題があります。会場も限られていますので、これ以上、参加者が増えてしまうと、むしろ混乱してしまうのではないかと思います。広い運動場を使えば、また別でしょうが、どうしても室内になりますと参加者を最大に見積もっても、550人くらいが限度ではないかと私は感じております。今年は、かなり参加者があり、飽和に近いのではないかなと思いました。

今川委員：辰口の総合体育でもいいのではないですか。

佐々木委員長：2階席があるので人がたくさん入れますが、福祉の場合、階段が使えないので、どうしても体育館の面積が広いところでないと無理が生じると思います。

田中委員：身障者トイレが少ないという問題点があります。

体育館だと、ほとんどが和式トイレのため、参加者の中で我慢される方や早く帰りたいと思う方が出てくるという心配はあります。

高塚委員長：そうですね、洋式トイレが非常に少ないですから。

能美市では、やはり根上総合文化会館の円形ホールが、1番いいのではないかと、

実行委員会の反省会に意見が出ていました。

今川委員：基本的にはできるだけ多くの方に参加してもらおう方向の方が私はいいと思います。受け入れの方が大事で、参加人数を抑えることは、私はおもしろく感じません。急には無理かもしれませんが、2階を使ってでも、多くの方の参加を望みます。

田中委員：おととしくらいから、福祉施設の方の参加も増え、3分の1ぐらいでどっと参加者が増えたこともありますので、今、その対応を考えているところです。でも、今の状態で落ちつくようなことになれば、また工夫して動員数を増やしていくことは可能だと思います。

宮本会長：車イスだと体育館では、ちゃんと車イスのタイヤをふいてしなければならないが、円形ホールだとそのまま車イスを使えますので、円形ホールの方がいいのではないかと思います。

高塚委員長：今まで出てこなかった人たちが、たくさんいらっしゃいますので、その方々が出てこられる環境をつくるのが大切だと思っています。

そうするとゴザを敷いただけではだめなんです。参加される皆さんはほとんどイスでないと、床に座ると、もう立ち上がることが大変なのですね。単に参加する人が集まればいいということではなしに、むしろ、これまで出にくかった人たちがどうやって出てこられるようになったかということが大事なという気はしています。いろんな方向から検討していかなければならないと思います。ただ、残念なことは、ゴザの上で座って、何とかなる人もイスの方が、結局は楽なためにイスに座ってしまうんですね。そうすると本当にイスでないとダメな人がはじき出されてしまうんです。ここは、やはり、イスを譲るだとかが、地域福祉活動計画の「質」の部分になってくるのだと思います。

田中委員：今川さんが言われたようにある程度、人数目標を追いかけないわけにはいかないですよ。参加の達成という評価と満足度の評価に対しての評価もいただいて検討していかなければならないですよ。1つの目標がちゃんとありますので、まず努力してみてくださいそこからいろいろと考えていく必要があると思います。

高塚委員長：もう1点、食べ物を出しているのですよね。これも難しい問題があるのですが、限られたものを分け合って食べるという風にすればいいのですが、食べ物があるから行く、食べ物が済んだら帰るといったような部分もありますので、そのような人たちを人数に入れることについて、実行委員としては非常にじっくりこないのがあります。数字合わせだけすればいいのではなしに、その部分も工夫が必要だと感じております。

佐々木委員：支えあいのしくみづくり委員会の5年間の指標を見ますと、着々と達成されていますね。この間の社会福祉大会では、「誰でも参加できるの？知らなかったです」「また考えてみます」等の声も聞かれました。あの時に説明をしていただき、いいきっかけになったと思います。ですから、この目標の数字以外に自分達の目標みたいなものをまた載せれば、一步進んだ新しい支えあいというものをやっていけるかなと感じました。

喜多委員：こういうことをするにあたって、最低、数値的なものが必要なため、便宜上、立てただけであって、数字がどれだけになったので達成できたなどは全く違います。人づくりもそうですが、意識がどれだけ高まって共有できるかというのが目標でしたので、数字は、また来年度、変えればいいのではないだろうかと思っておりますので、内面的なものとかが私達の話し合いの中でポイントになると思うんですが。

事務局：この間、丸山さんが、「他のファミリー・サポート・センターでは、通信みたいなものを出しているのだから聞きに行ってみようか」と言っていました、そのようなPRみたいなものを定期的に行うとかあるのですか。

喜多委員：そういう話もちょうと出ています。ただ、委員会の開催が12月4日のため、まだ、そこまでは話し合っていないんです。

田中委員：1つお聞きしますが、「支えあいのしくみ」「たすけあい」に関する住民の理解を進めるところで、要支援者の本音ニーズに対応すると書いてありますけれど、見守りネットワークの充実を目指すので、ここはネットワークづくり委員会とうまく連携がとれないものかなと思います。

民生委員児童委員にしか、情報が公開されないなどの問題もあり、簡単に報告はでき

ないのだと思いますが、地域の中でどういう人に助けられたら要支援者の方はいいかという情報がせめて、民生委員さんに伝わっていけばもっと見守りネットワーク活動の方にも便利になるかなと思います。

喜多委員：私たちの委員会の1番めの取り組みに関しては、今年度は、私達の中ではまだ話し合いは進んでいません。とりあえずは、子育て支援、ファミリー・サポート・センターのことをきちんとして、将来的には人づくりも支えあいも全てが繋がってやっていかなければできないだろうと思います。

田中委員：民生委員さんは、要支援者の方を把握していても、どう支援していったらいいのかからなと思うので、そのへんの情報も伝えてあげればとても助かると思います。

今川委員：見守りネットワークは、高齢者や障害者も含め、見守りの範囲が広いです。寺井の場合、ある地区では、要支援者すべてが対象というところもありますし、ある地区では、何歳以上の高齢者の方が対象になっている地区もあります。その見守りの対象者の範囲は、はっきりはしてないですが、基本的には要支援者を見守っていこうということでもあります。

ちょっと聞きますが、この事業の中の「ミニデイ」についてですが、これは社協が行う「ミニデイ」なのですか。

事務局：そうです。週1回、ボランティアさんが、担い手になって辰口健康福祉センターで行っています。今は、1ヶ所だけなので、何とか各地区でも行って行きたいと考えております。

今川委員：西川さん、ネットワーク委員会の資料右下の「寺井警察署が民生委員を一口アドバイザーに委嘱」という部分の説明をしておいた方がいいのではないのでしょうか。

西川委員：はい、それは振り込め詐欺の被害件数が多いので、高齢者などへの情報提供をお願いしたいということで委嘱をいただきました。それから、交通事故防止ということで、夜は、明るい色の服を身につけてほしいことも呼びかけていたきたいということも話されていました。

高塚委員長：先ほどから「要支援者」という言葉を使っていますが、これは、「要援護者」なんですよ。「要支援者」や「要介護者」という言葉は、介護保険の要支援1・2の人たちを「要支援者」と言います。要介護1～5までを「要介護者」として、法律的な用語として使っているのですから、「要支援者」という言葉を使うと混乱が起ってきます。今の場合は、「要援護者」という言葉を使うのが正式ではないかなと思いました。

消防も用語の使い方が混乱してしまっているのだと思うんですね。身障者の障害のランクづけは「要支援」となっており、介護保険の場合は「要支援1・2、要介護1～5」になっています。

今川委員：社協と行政とでこの用語の使い方をはっきりさせておいていただきたいと思います。

高塚委員長：消防も警察の方もその整理が非常に大切なので、その打ち合わせをしっかりと行っていかなければならないですね。すり合わせをお願い致します。

事務局：ここでは、20年度のアクションプラン予算をご理解いただいた上で、各委員会の中でまた話し合っていたいただきたいというお願いです。事業名と予算が、あたっていないところにつきましては、今後、協議していきたいということです。21年度の予算については、おおよそ、20年度の予算と同じような方向で進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

高塚委員長：それでは、次に移らせていただきます。

事務局：「評価の方法について、前回からの継続審議」ということですが、前回の会議にはたたきということでお示しさせていただいております。

次회가、1月開催の予定なので、「評価」について出せるような形を目指していかなければならないと思います。1月は、このシートの検討を重点的にしていくというような形にしていきたいと思いますので、是非、皆様のご意見もよろしくお願い致します。

高塚委員長：次回は、この評価という部分を明確にすることの確認をしていきたいと思います。各委員会で、シートを1枚出していただいたらどうですか。

佐々木委員：とりあえずは、このシートを記入してみて、その上で書きにくいなどの意見が出されれば、またそれを改善して書きやすいものもできるかもしれないですね。

高塚委員長：それでは、7今後の予定に移ります。

事務局：当初、お示ししました推進のスケジュールですが、3月7日（土）に福祉フォーラムが入っていましたが、学びフェスタが、市長選挙の関係で3月1日になりました。連続して行うことは、難しいと思われまますので、3月14日（土）に変えさせていただきました。会場は辰口福祉会館になります。事後の変更報告となりましたが、よろしくお願い致します。

それから、この後の委員会開催の予定ですが、人づくり委員会が11月25日、ネットワークづくり委員会が12月1日、支え合いのしくみづくり委員会が12月4日、私達のボランティアセンターづくり委員会は11月19日に予定されております。ボランティアセンターづくり委員会の方は、毎月開催というご報告がありました。

この委員会の次回の予定ですが、1月16日（金）でご都合は、いかがでしょうか。よろしければ、その日で、午後1時30分から、辰口健康福祉センターで開催させていただきたいと思しますので、よろしくお願い致します。

それでは、副委員長さんの方で閉会のご挨拶をお願い致します。

西川委員：今日は、お集まりいただきましてありがとうございました。宿題が出ましたので、各委員会に持ち帰って、ご検討していただきたいと思致します。

次回は1月16日の予定となっております。よろしくお願い致します。本日は、ありがとうございました。